

大阪大学教員 出版支援制度

募集要項

1 制度の目的

大阪大学において研究に従事する教員の優れた研究成果を、学術図書として出版することを大阪大学及び大阪大学出版会（以下「出版会」とする）が支援することにより、大阪大学における研究活動の推進と研究成果の普及に資することを目的とする。

2 支援の対象

A部門：若手部門（5点）

応募時に大阪大学に所属する専任及び特任の若手教員（大学及び研究機関等における研究経歴の年数を基準とし、概ね20年以下とする）の論文等をもとにした出版企画で、部局での選考を経たもの。

B部門：一般部門（5点）

応募時に大阪大学に所属する専任及び特任の教員（但しA部門の「若手教員」の要件に該当しない者）の論文等をもとにした出版企画で、部局での選考を経たもの。

3 審査・選考

- 出版会へ応募する出版企画の審査・選考は、著者である教員の所属する部局が行う。令和6(2024)年度における各部局からの応募は、A部門3点まで、B部門1点までとする。
- 部局を通じて応募された出版企画は、大阪大学の教員によって組織される大阪大学出版会出版委員会において最終選考を行う。
- 選考結果は、最終選考後、令和6(2024)年10月末日までに当該部局及び著者（共著の場合は代表者）に対し、出版会から通知する。

4 支援の内容等

- A部門については、大阪大学未来基金が1点当たり100万円の制作費を助成する。これを超える制作費は出版会が負担する。
- B部門の制作費については、100万円を上限に出版会が負担し、学術図書として出版、頒布を行う。100万円を超える場合は、その負担について著者と協議を行うことがある。

但し、いずれの場合も、出版部数及び定価は出版会が決定し、出版形式は紙媒体と電子書籍とする。

5 応募方法（裏面⑥応募にあたっての注意を参照のこと）

各部局は、該当する出版企画があった場合、令和6(2024)年8月末日16時までに、下記の要領で出版会「大阪大学教員出版支援制度担当係」宛に提出する。

- ①出版企画書 電子データ（Word形式）およびプリントアウト（いずれも日本語）
- ②応募者の研究歴 電子データ（Word形式）およびプリントアウト（いずれも日本語）
- ③完成した原稿等 PDFデータ（送信方法は任意）およびプリントアウト（A4サイズで両面印刷し、ファイル等に綴じる）

なお、①、②の様式は大阪大学出版会 HP（<https://www.osaka-up.or.jp/shien.html>）からダウンロードし、合計4ページ以内（両面印刷でA4サイズ2枚以内）に収めること。

6 応募にあたっての注意

- (1) 他の出版助成等と並行しての応募は不可とする。
- (2) 「完成した原稿等」は、著者の研究活動成果としての未発表の論文またはそれに準ずる論文等に基づいたものとし、応募後に校正の範疇を超えて修正する必要のないものとする。
なお、出版期日までに出版することが困難と見込まれる原稿は応募しないこと。
- (3) 執筆、校正及び転載にかかる著作権処理は著者の責任において行うが、大阪大学出版会は、採択後に学術図書として出版するために必要な編集や、著者に対する原稿修正の要請を行うことがある。
- (4) 「完成した原稿等」は、Word 等の文書データおよび jpg 等のモノクロ画像データ（図）、Excel 等の表データ（表）の状態を用意しておくこと（採択後に要提出）。
- (5) 初刷および電子書籍についての著作権使用料（印税）は発生しない。
- (6) 出版部数、定価及び出版形式等は出版会が決定する。
- (7) 著者は採択後すみやかに、大阪大学出版会と出版契約を締結することとする。
- (8) 著者は、原稿（一部及び全部）を情報リポジトリ等（ホームページ、ブログ、所属組織が運営するもの等を含む）において公開している場合は、出版契約に定めた期間について非公開の手続きを行うものとする。
- (9) 出版会は著者の協力のもとに、令和7（2025）年9月末までに出版する。

7 応募・お問合せ先



大阪大学出版会

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-7 大阪大学ウエストフロント

「大阪大学教員出版支援制度担当係」宛（学内便可）

電話：06-6877-5405（編集部） e-mail：shien@osaka-up.or.jp

HP：https://www.osaka-up.or.jp/shien.html（「大阪大学教員出版支援制度」）

大阪大学教員出版支援制度による既刊書一覧は、HPに掲載。

当面の間、学内内線での対応を見合わせます。お電話によるお問い合わせは、上記電話番号（編集部）をお願いします。